

設問 1（授業科目名・クラス名）

設問 2（科目コード）

設問 3（回答者名）

※ 以下、各選択肢の右に該当クラス数を記す。（全回答数に対する回答率も附記）

A（問 4～13）：授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し、次の①～④のうち該当する丸数字を選んでください。 ①:あてはまる ②:ややあてはまる ③:あまりあてはまらない ④:あてはまらない

設問 4 シラバスに沿って授業を行えた。

①:6 (55%) ②:3 (27%) ③:2 (18%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 5 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。

①:8 (73%) ②:3 (27%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。

（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

①:3 (27%) ②:7 (64%) ③:0 (0%) ④:1 (9%) 未回答:0 (0%)

設問 7 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。

①:5 (45%) ②:6 (55%) ③:0 (3%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 8 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

①:7 (64%) ②:3 (27%) ③:1 (9%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 9 受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）

①:7 (64%) ②:4 (36%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 10 受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。

（発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた

/学生の授業への能動的な参加（アクティブ・ラーニング）を促した 等）

①:5 (45%) ②:4 (36%) ③:2 (18%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 11 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。

①:3 (27%) ②:6 (55%) ③:1 (9%) ④:1 (9%) 未回答:0 (0%)

設問 12 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

①:5 (45%) ②:5 (45%) ③:1 (9%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 13 シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

①:6 (55%) ②:5 (45%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

B (問 14~18) : FD 活動についてお尋ねします。

設問 14 この授業科目に関してこの 1 年間取り組んだ FD 活動を選んでください。(複数回答可)

- ①他教員の授業参観： 1 (9%)
- ②学内外の FD 講演会等への参加： 8 (73%)
- ③他大学の FD 活動の視察： 1 (9%)
- ④その他： 1 (9%)・・・「留学生の活用」
- 未回答： 2 (18%)

設問 15 今後取り組もうと考えている FD 活動を選んでください。(複数回答可)

- ①他教員の授業参観： 2 (18%)
- ②学内外の FD 講演会等への参加： 10 (91%)
- ③他大学の FD 活動の視察： 1 (9%)
- ④その他： 1 (9%)・・・「留学生の活用」
- 未回答： 1 (9%)

設問 16 昨年度も同一科目を担当した方は、前年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

該当するクラスのうち、回答：6 クラス（順不同）

- [1] “スライドを全面的に改訂した。毎回、演習科目を課して、授業で習った内容の確認を主体的に喚起させることを試みた。
- [2] 重要ポイントを理解できないという回答があったので、スライドの中に短い文で入れるようにした。ただし、過程を省いてこの文のみを覚えようとする学生が出るのが懸念され、適切な方法について今後も検討していきたい。
- [3] 最近の自然災害の事例や話題を授業により多く取り入れた。
- [4] 留学生を活用したワークショップについて、昨年度の履修学生より、よりディスカッションの時間が欲しいとの学生の要望を受けて、学生の合意を得て日程を調整し、土日に長く連続した時間を創出することで深い議論と祖のためのアクティブラーニングを行うことができた。
- [5] 中小企業家同友会の皆さんのご協力により経営者のゲスト講義に加えて現場（工場見学）を 2 回実施して中小企業の取り組み、社員の働く場、顧客とのコミュニケーションの様子などを実際に自分で確かめて考える授業を行った。
- [6] 受講生の変化を待ち、自発的な活動を尊重した。

設問 17 自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、この FD 活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

回答： 5 クラス（順不同）

- [1] “数学の基礎が修得されていないと流体力学の理解は進まない。
数学の演習課題を次年度からは増やしたい。”
- [2] “イメージがつかみやすいよう、画像や動画を多く取り入れるようにした。
ノートを作らず、配布プリントに書き込むだけの学生が目立った。ノートをとる時間を設けても、何も書かない者が多い。
資料のつくり方や適切なノートテイキングについて検討する必要があると感じた。
必要な個所で課題としてまとめのポイントを提示し、自発的な復習を促したが、試験の結果、課題に沿って復習を行っている学生は極めて少ないことがわかった。これについても今後の工夫が必要である。”

[3] “◆評価できる点

・留学生の活用。

・上記のための英語の導入

・クォーター制を意識した短期集中型教育を試行した。（こうした思考の啓発と開発を伴う内容では、集中的に実践して後のアクティブラーニングを促すことが有効と実感できた）

・その結果、国際交流への参加や留学を志望する学生を本クラスから得た。

◆反省点

・日程まで詳細にシラバスに細かく記載できなかった。”

[4] 中小企業家同友会の皆さんのご協力により経営者のゲスト講義に加えて現場（工場見学）を2回実施して中小企業の取り組み、社員の働く場、顧客とのコミュニケーションの様子などを実際に自分で確かめて考える授業を行った。グループ討論を毎時間取り入れて学生間で話し合い考える取り組みを実施した。

[5] “受講者が、教育文化学部5名のみだったことで、話し合い等がスムーズに行えた反面、活動の幅などについては十分に広げることができなかった。

通年の期間が必要な科目であるが、4学期制が導入された場合には、どのように通年の期間を維持するかは検討が必要である。”

設問 18 FD 活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

提出ファイル： 150111_基礎（共通）科目重点配分報告書_国際連携・伊藤健一.docx、
第一回企業訪問.pdf

C（問 19～21）：中期目標・中期計画のうち「コミュニケーション能力の育成」についてお尋ねします。

設問 19 授業に「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか？

①はい： 7 (64%) ②いいえ： 4 (36%) 未回答： 0 (0%)

問 19 で「はい」の方は問 20、21 にお答えください。

設問 20 下記のどの点を重視しましたか？（複数回答可）

- ①聞いて理解する： 1 (9%)
- ②読んで理解する： 0 (0%)
- ③自分の考えをまとめて話す： 4 (36%)
- ④自分の考えを文章にまとめる： 3 (27%)
- ⑤討論する： 1 (9%)
- ⑥皆の前でプレゼンテーションする： 0 (0%)
- ⑦その他： 2 (18%)

「ふれあい体験を行う」 「話す」ではなく「伝える力」

未回答： 3 (27%)

教員 FD 活動レポート（基礎教育）H26 後期 まとめ 学士力発展科目

設問 21 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら、記述してください。

回答： 4 クラス（順不同）

[1] 講義の初回に計 42 ページのプリントを渡し、これを読んで理解の助けになるようにした。

[2] 事前説明、準備（アクティブラーニング）ののち、日本人学生でのワークショップを行い、グループ学習を促し、その後、留学生を交えてその課題について再度ワークショップ、発表を行った。

[3] グループ討論を毎時間取り入れて学生間で話し合い考える取り組みを実施した。

[4] ディスカッションの進行役等を持ち回りで担当させた。

D (問 22～25) : 中期目標・中期計画のうち「地域を教材とする基礎教育/共通教育プログラム」についてお尋ねします。

設問 22 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか？

①はい： 4 (36%) ②いいえ： 7 (64%) 未回答： 0 (0%)

問 22 で「はい」の方は問 23～25 にお答えください。

設問 23 その内容を授業に取り上げるおよその回数を選んでください。

①1～5回： 3 (27%) ②6～10回： 0 (0%) ③11～15回： 2 (18%)
未解答： 6 (55%)

設問 24 「地域」のどのような分野を取り上げていますか？（複数回答可）

①歴史・文化： 0 (0%) ②政治・経済・産業： 3 (27%) ③自然環境・フィールド体験： 2 (18%)
④その他： 1 (9%)・・・「中山間地域活性化への取組」 未回答： 6 (55%)

設問 25 「地域を教材とした基礎教育/共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述してください。

回答： 3 クラス（順不同）

[1] 中小企業家同友会の皆様のご協力により経営者のゲスト講義に加えて現場（工場見学）を2回実施して中小企業の取り組み、社員の働く場、顧客とのコミュニケーションの様子などを実際に自分で確かめて考える授業を行った。

[2] 中山間盛り上げ隊の活動について、学外講師による講義を行った。

[3] 地方創世、限界集落、道州制、etc、まさに現在の政治・経済問題について講義し、そのあとコメントを書かせる则该種の問題には関心がもてるようです。